

令和8年6月定例会議 一般質問一覧表

番号	質問者	質問事項・質問の要旨	答弁を 求める者
1	割田三喜男	1 共創のまちづくりについて (1) 「共創のまちづくり」の総括と、なぜ、今「共創」が必要なのかを伺う。 (2) 従来の「協働」とこれからの「共創」の違いについて、本質的に何が変わると認識しているか。 (3) 「地域自治」が直面している現状と、最も解決を急ぐべき課題は何か。 (4) 「共創のまちづくり」を進め住民の暮らしと命を守るため、地域づくり協議会（地域運営組織）を設立し地域計画の策定により、モデル地区選定など、設立に向けた具体的なロードマップをどう描いているか。 (5) 地縁型組織とテーマ型組織が補完し合う、民主性と開放性のある新しい地域社会を、行政として具体的にどう実現していくか。 (6) 賢く縮充するまちづくりで中山間地を再生するためには、住民主導の「小規模多機能自治」に活路を見出す必要があると思うが、行政の伴走支援はどのように考えているか。 (7) 「小規模多機能自治」を成功させるためには、中間支援組織による伴走支援は重要だが、具体的にどのような人材や組織を想定し、その育成と確保をどのようにしていくか。 (8) 「小規模多機能自治推進のための体制整備」として、誰もが安心して暮らし続ける地域の実現のため、 ①地域づくりセンターの複合拠点化（小さな拠点化） ②地域づくり協議会の設立・強化 が急務と考えるが、今後の方針や具体的な整備スケジュール等はどうか。 (9) 「地域自治・住民自治」を担う住民側と「団体自治」を担う行政側との役割分担を、まちづくり基本条例、要綱・要領、指針、協定書などにより明確に規定（整理）し、持続可能な制度として定着させる必要があると思うがどうか。 2 避難行動要支援者個別計画について (1) 要支援者はどのような人が対象で、対象者は何人か。 (2) 現在の策定数と策定率はどうか。 (3) 策定数、策定率とも、県内35市町村で下位であるが、進まない要因は何か。 (4) 策定を促進していく具体的対策について伺う。 ※質問時間 60分	町長 町長

令和8年6月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
2	福田 弘明	1 これからの農林業の振興策について伺う (1) 政府が検討している食品にかかる消費税の減税処置は農家にどのような影響を与えるのか、それに対しての対応は検討しているのか (2) 稲作について 町内の農業の根幹である稲作について、当町においては食味計を導入し、美味しい米作りに取り組み、恵まれた自然環境のもとで大きな成果を上げてきました、今後は更にどのような方針のもと稲作について振興を図っていくのか伺う。 また、新たな視点で消費者の健康的で安全な食生活を求める流れに沿った農法でのいわゆる有機栽培米作りを加えさらなる飛躍を目指すのも一つの方法とも思えるが見解を伺う。 (3) 林業について 中之条町は町内の森林資源の活用に向け大きく取り組んでまいりました。林業振興の観点からどのような成果をあげられたのか伺うとともに、今後はどのような方針を持って取り組んでいくのか伺う。 ※質問時間 60分	町長

令和8年6月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
3	山田 みどり	1 教職員の休憩時間について (1) 以前の答弁で休憩時間は分散してとっているというが休憩時間は学校のどの時程に取っているか (2) 現状の把握と改善に向けて (3) 実態を把握するためにアンケートを実施するべきではないか	教育長
		2 支援員の配置について (1) 支援員を配置し、それぞれの個性に合わせて教育のサポートを行っているが現状は (2) 子どもの意見を聞きサポートは十分行われているか (3) 支援員は現状の配置で十分であるか	教育長
		3 子どもの居場所づくりについて (1) 下校後に子どもが安全に過ごせる場所が少ないという声があるが子どもの居場所づくりについてどのように考えるか (2) 学校内に学童を設置するにはどのような課題があると考ええるか	町長 教育長
		4 スクールバスの利用について (1) 近年は熱中症警戒アラートの発表や熊の出没など下校時の状況は大きく変わっている安心して下校できるよう現在のスクールバスの利用を拡充できないか	教育長
		5 部活動の地域移行について (1) 中学校の部活動がどのように変わったか、また今後の地域移行していくことで生徒や保護者の負担はどのように変わるのか	教育長
※質問時間 60 分			

令和8年6月定例会議 一般質問一覧表

番号	質 問 者	質 問 事 項 ・ 質 問 の 要 旨	答弁を 求める者
4	福田 公雄	1 ひとり暮らし高齢者などの見守り支援について (1) ひとり暮らし高齢者などの見守り支援として町では「緊急通報システム事業」を行っているが、現在の利用状況をどのように把握しているか。 (2) 町内において、事業の対象者に該当すると考えられる世帯数をどの程度把握しているか。また、その利用率についてはどのように認識しているか。 (3) 電話の操作が困難な方や、通信環境が不安定な地域においては制度利用が難しい場合もあるが、その対応についてどのように考えているか。 (4) 今後、町内では高齢化や独居世帯がさらに増えると思われる中で、対象者拡大なども含め、町として今後どのような見守り体制を構築していく考えか。 2 国際情勢の変化に伴う物価・燃料高騰への対応について (1) 現在の物価・燃料高騰が町民生活にどのような影響を与えていると認識しているか。 (2) 今後、さらにエネルギーや生活物資の価格上昇が進んだ場合、どのような対応を想定しているか。特に、高齢者世帯・通勤負担の大きい世帯などへの支援について、どのように考えているか。 (3) 現在の物価高騰が長期化する懸念もある中で、町民生活への影響を把握する体制や国・県への要望活動をどのように行っていく考えか。 ※質問時間 60分	町長 町長

令和8年6月定例会議 一般質問一覧表

番号	質問者	質問事項・質問の要旨	答弁を 求める者
5	原沢 香司	1 町の農林業をどのように維持発展させていくか。 (1) 中之条町における農林業事業者数・経営耕地面積・作付け面積のこの20年ほどの推移は (2) 2025年に提出された「地域計画」では、10年後の町の農地が現在と比べてどのようになることを展望しているか (3) 現在町として行っている農林業の担い手対策にはどのようなものがあるか (4) 上記の対策の効果について、町長の評価は (5) 今後実施を検討している担い手対策はあるか (6) 小規模・家族農業など自給的農家の役割は大きいと考えるが、町長の見解は (7) 近隣町村で「オーガニックビレッジ」の取り組みが広がっているが、中之条町で取り組む予定はあるか (8) 安心して農業生産をしてもらうためには学校給食の食材を地域内から公共調達することが有効と考えるが、町長の見解は (9) 町内で生産された農作物や木材の販路として、姉妹都市などの消費地との連携を図ることはできないか (10) 農林地や機械を譲りたい人と、新たに農林業に取り組みたい人をマッチングさせる機能が必要と考えるが、町長の見解は 2 物価高騰対策・物資不足対策について (1) 町民の生活状況や町内事業者の営業状況をどのように把握しているか (2) 行政への相談状況はどうか (3) 緊急の支援策として納税猶予や光熱費の減免、相談窓口の充実などが求められると考えるが、町長の見解は ※質問時間 60分	町長 町長